

読書会

「ぼそぼそ声のフェミニズム」 (栗田隆子) を読む

わたしが「生きがたい」と思っていることって、女であることに関わっているんじゃないのか？女に生まれて楽しいこともある、でも性別にしばられずに生きていけたらいいのにとすることもたくさんある。そんな話を本を読みながら、しゃべりませんか。
(作品を読むための会ではなく、読んだ内容について話す会です。本を読んでからご参加ください。)

日時： 7月27日(土)18時～20時
場所： とよなか男女共同参画推進センター
すてっぷ セミナー室1B
参加費：無料(部屋代をカンパ程度)

労働、貧困、婚活、#Me Too.....
この社会が、そして運動でさえ取りこぼしてきたものを拾い集めて、つぶやき続ける。
「弱さ」と共にある、これからの思想のかたち。
(帯より) : 「ぼそぼそ声のフェミニズム」
栗田隆子 作品社 1800円)



フェミニズムを実践するために。
日々目にするメディアには、性暴力について、ジェンダー不平等について声を上げる人たちの声が溢れている(ように思う)。でも、新聞紙面やSNSなどのネット上で、リアルな場で、社会構造の不平等について知り、考え、そして話せる場はなかなかない。
フェミニズムは理念ではなくて行動だから。
一緒に本を読みながら、考え、そして思いを分かち合ってみませんか。
行動するフェミニズムへ。

末原真紀

毎日の生活の中でふと気づく。これってジェンダー問題じゃないのか。フェミニズムは私の違和感に言葉をくれた。私を勇気づけ、解放させる。最近、フェミニズム関係の面白そうな本がたくさん出ている。ぜひ、読みたい。できたら同じような思いを持って生きている人と読みたいと思ってこの企画をしました。

利光真理子

主催・問い合わせ

Feminism in our mind
mtosimitu@hotmail.com